

保護者の皆様へ

令和3年2月

小樽市立北陵中学校長
宮澤 知

令和2年度「北陵の教育」後期の生徒・保護者アンケートの結果について

厳寒の候、保護者・地域の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動に対しましてご理解ご協力賜り、深く感謝申し上げます。

さて、12月に実施した後期アンケートへのご協力ありがとうございました。授業や行事など学校の様子を公開できない状況が続いている中でのアンケートの実施でしたが、いただいたご意見や結果等をふまえ、学校としての取り組みの方向性がまとまりましたのでお知らせします。

- 保護者アンケート 回答数 158 (web 回答率 約 89%)
 - 生徒アンケート 回答数 222 (パソコン室で Google Classroom 上から実施)
- ※ アンケートの結果の数値は「当てはまる」「どちらとも言えない」の2つをあわせたものです。

1. 未来を創る力の育成

①中学校では、情報機器の活用した授業の工夫や放課後学習「北陵塾」の実施など、生徒の小中9年間を通した基礎学力の定着に努めている。

わからない、判断できない 10.1%



②中学校では、生徒の学習に対する意欲をより高めるよう、学習指導を工夫している。

わからない、判断できない 22.8%



③中学校では、自己の将来について考えを深めることができるよう、体験活動の充実や進路説明会を実施したりしている。

わからない、判断できない 20.9%



2. 豊かな心の育成

①中学校では、朝読書や学校の図書室を使いやすくするなど、読書活動を推進している。

わからない、判断できない 15.8%



②中学校では、いじめの防止や早期対応等のために、担任との教育相談やスクールカウンセラーの活用などを適切に行っている。

わからない、判断できない 31.0%



3. 健やかな体の育成

①中学校では、保健体育の授業改善や部活動への支援など、体力・運動能力の向上のための取り組みをすすめている。

わからない、判断できない 26.6%



②中学校では、正しいスマートフォン等の使い方を指導するなど、情報モラルの指導や生活習慣の改善に努めている。

わからない、判断できない 17.1%



4. 家庭・地域との連携・協働の推進

①中学校では、地域との懇談の実施や*コミュニティスクールを導入するなど、地域や保護者の声を生かした学校経営を進めている。

わからない、判断できない 43.0%



5. 学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現

①中学校では、中学校教員が高島・手宮中央小学校で授業したり、共通の教育目標を設定したりするなど、地域の小中学校が連携して取組を進めている。

わからない、判断できない 15.8%



②中学校では、学校の様子を、学校だよりやホームページなどにより保護者に分かりやすく伝えている。

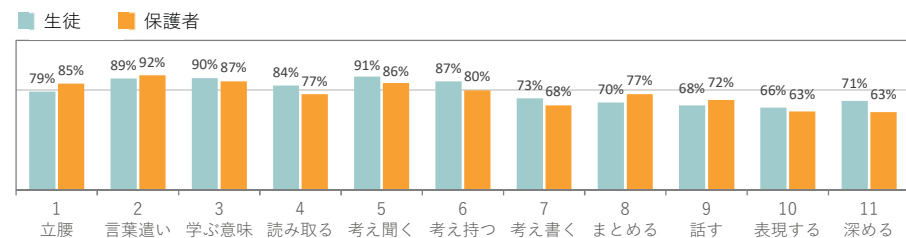
わからない、判断できない 10.1%



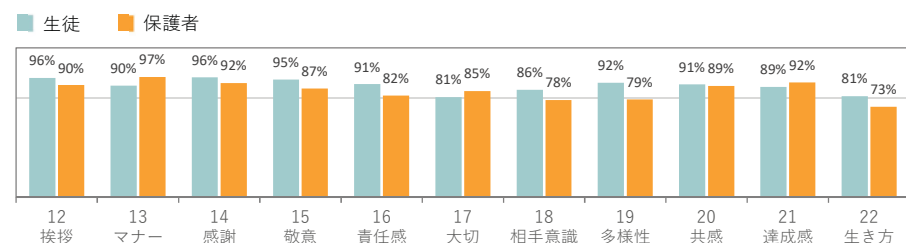
*「^{コミュニティ・スクール}C S」について～ 本校は、昨年度に学校運営協議会制度を導入し、「^{コミュニティ・スクール}C S」となって今年で2年目となります。この制度は、学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」への転換を図るための有効な仕組みです。12名の委員からなる「学校運営協議会」は年4回行われ、校長が作成する学校運営の基本方針の承認、学校運営についての意見交換などを行っています。詳しい活動の様子は、本校ホームページ上でも紹介していますので、ぜひご覧ください。

○33SKILLについて 各スキルは今現在、どの程度身に付いていると思いますか。(80%を超えることを目標に、肯定的回答の割合を示しています)

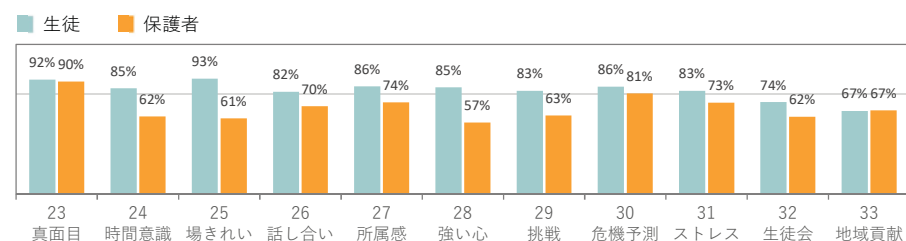
<主体的に学ぶ力を育て、高める>



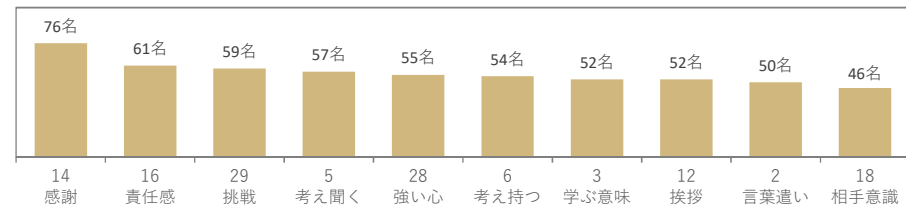
<コミュニケーション能力を向上させ社会性を高める>



<集団としての自治的能力を育て、高める>



○7月に比べてできるようになったと思うスキルを1番から33番の中から、1~3つ選び、番号でご回答下さい。(生徒・保護者アンケートの合計、上位10のSKILL)



前期・後期のアンケートを通して「わからない、判断できない」との回答が大変多くありました。コロナ禍の状況においても可能な限り学校の様子を広くお伝えし、情報発信に努めるとともに、日々の教育活動一層充実させ、「地域に開かれた学校」「地域とともにある学校」を目指していきます。

○学校への要望や意見等、お気づきのことがありましたらお書き下さい。

①北陵塾の改善/②スキー授業に関して、普段スキーをしないので、スキー授業だけの為に道具を準備しなくてはなりません。経済的負担が大きいです。スキーを選択授業にするなど検討してほしいです。

①北陵塾は、放課後学習ルームとして、持ち寄ったワークなどで自習し、分からないところなどを質問する形で運営しています。また、教科担任の指示により、小テストなどで出来なかった問題等のやり直しの場としても活用されています。よって質問が多い場合などは、生徒同士で教え合い学び合うこともあります。現在は、コロナ感染防止対策で席数を減らし、学年で場所を2つに分けて対応しております。今後は状況によって、自習を中心とした場所と教え合いを前提とした教室に分けて対応することも考えております。②学習指導要領において、『自然との関わりの深いスキーなどの指導については、学校や地域の実態に応じて積極的に行うことに留意するものとする。』と記載があります。本校においても、自然との関わりの深い学習活動と捉え、保健体育科の年間指導計画へ位置づけている旨をご理解いただけますと幸いです。なお、市内のスキー場では、用具一式の貸し出しを有料ですが、行っています。用具を子どもの成長に合わせ、都度購入されるよりも経済的な負担が抑えられる場合もあります。

③髪を染めてる生徒がいます。先月見た時はオレンジ色の髪にみえましたが、学校ではどのように対応しているのでしょうか。その子だけ染めても許されているのでしょうか?下校のときにすでにフルメイクでバス停にいます。帰宅してから、休みの日ならメイクしても、登下校でのメイクは教育の場に必要ないものだと思います。バス停で並んでいてもバスが来たら割り込んで一般のお客さんまでも追い越したり、バス車内でも後ろ側に座ったと思ったら1番前の座席があくと走ってでも座りに行ったりしているのをよく見ます。一般のお客さんが座ろうとしても割り込んで座っています。お年寄りがたくさん乗っているので危ないで注意してください。

③その生徒によっては指導途中であることが考えられますが、髪を染めたり化粧をしっている生徒が登校してきた場合については、何の指導もしないでということとは決してありません。担任や学年指導部などから、生徒の置かれている状況に応じた指導が入っています。バスマナーの指導についても、担任及び生徒指導部から行っています。例年、全校生徒及び対象生徒を集めて直接話をしています。該当生徒については直接話を致します。情報の提供ありがとうございます。これからも学校と家庭、地域で子どもの安全見守り活動に取り組んでいきたいと思っております。ご協力をよろしくお願い致します。

まだ校風等がわかっていませんが、今見直されている子どもにとっての学びのあり方を意識されているような学校のように感じています。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。/何時も先生には良くして頂き感謝しかありません m(_)_m/バス通学の助成金申請をもう少し簡単にしてほしい。定期券の購入証明をもらうための手続きが複雑です。毎月分の定期券のコピーを取るのも忘れがちになってしまいます。/内と外では違うので、参考にはなりそうもありません。知人達の話や聞くことのできる場所もあるようです。/あと3ヶ月程となりましたが、最後までご指導よろしくおねがいします。/学校に行きやすい環境にして頂いて、嬉しく思っています。/勉強・運動・部活・友達関係、先生関係何事にも楽しんで頑張っていて、良い子で文句なしの子です!/コロナ渦の中で、分からない、判断できない事が多々ありました。ですが、この中でも担任の先生が息子の悩みに真摯に向き合ってくれ、親として本当に感謝しております。有難うございます。/ これからも宜しくお願い致します。

アンケートのご回答につきましては、ウェブによるご回答が約9割となりました。学校・保護者間の連絡手段のデジタル化が保護者・学校双方の負担軽減につながれば幸いです。ありがとうございます。今年度につきましては、コロナ禍の状況において、参観日などの学校や生徒の活動の様子を直接ご覧いただく機会が大変少なく、大変申し訳ありませんでした。本校の校風や生徒の活動の様子につきましては、学校ホームページにも記載がありますので、合わせてご覧ください。バス通学費助成制度の手続きに関するお問い合わせは、小樽市教育委員会(教育推進グループ)までお願いいたします。